

株式会社mocmo（モシーモ）

【企業主導型保育】もしもしのほし保育園

（東京都杉並区高円寺南1-29-18）

【いい保育士って、どんな保育士？ いい保育って、どんな保育？】

☆いつも”いい保育”を目指し続けること

ずっと同じ保育や、これが正解という保育はないと思っています。受け入れる子どもたちは毎年変わりますし、日々の絶えず変化し成長していくのが子どもたちなので、“いま目の前にいる子どもたちにとって、いい保育ってなにか？”を考え続けています。

つい先日も職員ミーティングを開き、1日の保育の流れをよりよくするための意見出しをしました。職員の年齢や保育経験にかかわらず、お互い同じ目線で子どもたちのためになることを考えながら保育をしています！

☆“これが私なんだ”と自分自身を認められる保育者でありたい

“いい保育”ができるように「子どもたちの声に耳を傾ける」「子どもたちと一緒に思いっきり楽しむ」を大切にしています。一方で、何か無理や我慢をしたり、自分自身を隠して保育をしていると、子どもたちと思いっきり関わることは難しいと考えています。なので、自分自身の素敵どころも、苦手なことも含めて“これが私なんだな”と認めることが大事だと思います。余談ですが当園ではピアノは必須ではありません。ウクレレを弾く先生もいますよ^^

【目指しているのはこんな園】

☆もしもこんな保育園があったら…

もしもには、「もしも？」というワクワクする気持ちと、「もしもし」というコミュニケーションを大事にするという意味が込められています。なので、当社では”現場の保育者の意見”をとにかく聴いて、どんどん実行に移しています。大人もワクワクしていることが子どもたちには大事だと考えているからです。

そのように、子どもと保育者が一緒に楽しみ、日々を思いっきり過ごすことを重ねて、地域でより選ばれる保育園づくりをしていきます。

【私が参加します！】



私自身、新人保育士のときに、いろんな「違和感」を感じました。“この保育でいいのかな？”“保育士って、保育園でしか働いちゃいけないのかな？”

この違和感を無視せずに向き合ってきたことで今があると思っています。当日は皆さんが考えるいい保育や、いま感じている違和感などをお聞きしながら、一緒に楽しく過ごせたらと思っています。

（施設長 相原布沙(ふさ)さん）